

安全上のご注意

この商品を正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書「安全上のご注意」をお読みになり十分に理解してください。お読みになった後はいつも手元においてご使用ください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

警告サイン	内容
	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号の例
<p>記号は注意(警告・危険を含む)を示します。具体的な注意内容は、の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は、「破裂注意」を示します。</p>
<p>記号は禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な注意内容は、の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は、「一般的な禁止」を示します。</p>

歩数計に関する安全上のご注意

注意	
電池は火中に投げないでください。破裂する恐れがあります。	
小さなお子様や電池フタ・電池をなめたり、いじったりしないようにしてください。飲み込むと、息がつかんだり、体調悪化の恐れがあります。	

お願い	
強い衝撃は避けてください。	
本体は無理にひろげないでください。	
クリップを極端に広げたり、ねじったりしないでください。	

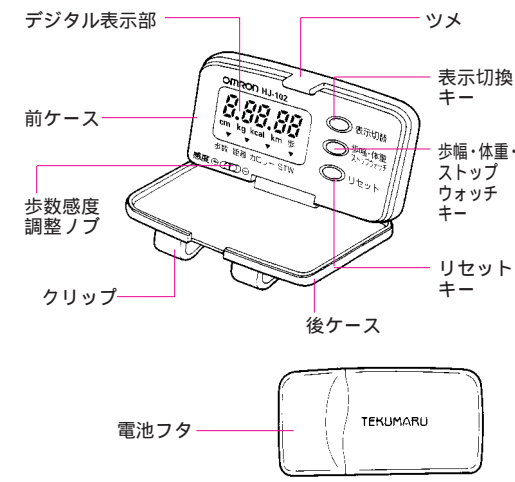
お願い	
分解したり、内部にふれたりしないでください。	
シンナー、ベンジン、アルコールなどでふかないでください。	

洗ったり、ぬれた手でさわったりしないでください。	
直射日光・ホコリ・雨・湿気を避けて保管してください。	

特長

歩行やジョギングの距離を1000km(0~999.99km)まで測定できます。毎日の歩行やジョギングによる消費エネルギーの目安を1万kcal(0~9999kcal)まで測定できます。距離、カロリー消費量と同時に歩行やジョギングの歩数が10万歩(0~99999歩)まで測定できます。10時間(9時間59分59秒)までのストップウォッチ機能つきです。歩数、距離、カロリーの各機能は同時に作動しています。ストップウォッチをスタートさせている場合も同時に作動しています。表示切換キーを押すと各々の測定結果を順番に表示できます。見やすい大きなデジタル表示。簡単なキー操作。小型・軽量で、装着が簡単。一人一人に合わせ、歩数感度の調整可能。

各部の名称



正しくご使用いただくために

正しい装着のしかた
クリップと前ケースを閉じて、ベルトやスラックス、スカート、トレーニングパンツなどに、クリップでしっかり装着してください。

取付位置はスラックスの折目線が目安です。クリップは差し込んで止まるまで、しっかりと入れてください。

次のような場合は、歩数が正しく測定できないことがあります。

正しく装着していないとき。
本体を傾けてベルトに装着したとき。クリップと前ケースを閉じていないとき。

お使いいただく前に

不規則な歩行や不規則なジョギングをしたとき。
スリ足のような歩き方。サンダル、ゲタ、ソウリなどの履物での歩行。混雑した街中を歩くときなどの歩行のみだれ。

上下運動や振動の多い所で使用したとき。
立ったり、座ったりする動作。歩行やジョギング以外のスポーツ。階段や急斜面の昇り降り。乗物に乗車中の上下振動または横ブレ。

ご使用方法

電池を入れます
本体左脇側面の溝にコインを入れてひねり、電池フタをはずします。

電池の+側を上にして、付属の電池を入れます。

電池フタ右側の出っばりを本体ケースの溝に差し込み、電池フタ全体を軽く押し込みます。

歩数測定
表示切換キーを押して表示画面上の矢印()を「カロリー」に合わせます。

本体を身体に装着します。リセットキーを押して、表示を「0」にします。(電源は切れません)本体を閉じて、歩行やジョギングをしてください。1歩ずつカウントし、表示します。歩数は、99999歩まで測定できます。他のモードの機能(距離、カロリー)も同時に作動しています。ストップウォッチをスタートさせている場合も同時に作動しています。表示切換キーを押すと、各々の測定値が順番に表示できます。

距離測定
表示切換キーを押して表示画面上の矢印()を「距離」に合わせます。

カウントしている歩数に応じて距離が表示されます。本体を装着してから、リセットキーを押して表示を「0」にします。(このとき、歩数も表示が「0」にもどります。)歩行やジョギングを始めると、距離が順次表示されていきます。距離は、999.99kmまで測定できます。他のモードの機能(歩数、カロリー、ストップウォッチ)も同時に作動しています。表示切換キーを押すと、各々の測定値が順番に表示できます。

歩幅の設定
最初に使用者の歩幅を設定してください。表示切換キーを押して表示画面上の「距離」に合わせます。歩幅・体重・ストップウォッチキーを押すと現在の設定歩幅が表示されます。(電池を入れ換えると、自動的に歩幅が30cmに設定されます。)歩幅・体重・ストップウォッチキーを1回押すごとに表示されている歩幅が5cmずつ増えます。1秒以上押し続けると早送りになります。使用者の歩幅が表示された時点で、歩幅・体重・ストップウォッチキーをはなしてください。これで歩幅が設定されました。

歩幅の測定
つま先からつま先までが正しい歩幅です。正確に平均歩幅を知るには、下図のように10歩歩き、その合計距離を10で割った数字があなたの平均歩幅です。
 $\frac{7m(\text{合計距離})}{10(\text{歩いた歩数})} = 0.7m(70cm)$

歩幅の確認
距離表示モードから歩幅・体重・ストップウォッチキーを1回押すと約5秒間設定歩幅が表示されます。この状態で5秒たつと表示は自動的に距離表示にもどります。

体重の設定
最初に使用者の体重を設定してください。表示切換キーを押して表示画面上の「カロリー」に合わせます。歩幅・体重・ストップウォッチキーを押すと現在の設定体重が表示されます。(電池を入れ換えると、自動的に体重が30kgに設定されます。)歩幅・体重・ストップウォッチキーを1回押すごとに表示されている体重が5kgずつ増えます。1秒以上押し続けると早送りになります。使用者の体重が表示された時点で、歩幅・体重・ストップウォッチキーをはなしてください。これで体重が設定されました。

ストップウォッチ
表示切換キーを押して表示画面上の矢印()を「STW」に合わせます。

歩幅・体重・ストップウォッチキーを押すと再びカウントを開始します。

他のモードの機能(歩数、距離、カロリー)も同時に作動しています。表示切換キーを押すと、各々の測定値が順番に表示できます。

お使いいただく前に

歩幅の設定
最初に使用者の歩幅を設定してください。表示切換キーを押して表示画面上の「距離」に合わせます。歩幅・体重・ストップウォッチキーを押すと現在の設定歩幅が表示されます。(電池を入れ換えると、自動的に歩幅が30cmに設定されます。)歩幅・体重・ストップウォッチキーを1回押すごとに表示されている歩幅が5cmずつ増えます。1秒以上押し続けると早送りになります。使用者の歩幅が表示された時点で、歩幅・体重・ストップウォッチキーをはなしてください。これで歩幅が設定されました。

体重の設定
最初に使用者の体重を設定してください。表示切換キーを押して表示画面上の「カロリー」に合わせます。歩幅・体重・ストップウォッチキーを押すと現在の設定体重が表示されます。(電池を入れ換えると、自動的に体重が30kgに設定されます。)歩幅・体重・ストップウォッチキーを1回押すごとに表示されている体重が5kgずつ増えます。1秒以上押し続けると早送りになります。使用者の体重が表示された時点で、歩幅・体重・ストップウォッチキーをはなしてください。これで体重が設定されました。

ストップウォッチ
表示切換キーを押して表示画面上の矢印()を「STW」に合わせます。

歩幅・体重・ストップウォッチキーを押すと再びカウントを開始します。

他のモードの機能(歩数、距離、カロリー)も同時に作動しています。表示切換キーを押すと、各々の測定値が順番に表示できます。

お使いいただく前に

歩幅の設定
最初に使用者の歩幅を設定してください。表示切換キーを押して表示画面上の「距離」に合わせます。歩幅・体重・ストップウォッチキーを押すと現在の設定歩幅が表示されます。(電池を入れ換えると、自動的に歩幅が30cmに設定されます。)歩幅・体重・ストップウォッチキーを1回押すごとに表示されている歩幅が5cmずつ増えます。1秒以上押し続けると早送りになります。使用者の歩幅が表示された時点で、歩幅・体重・ストップウォッチキーをはなしてください。これで歩幅が設定されました。

体重の設定
最初に使用者の体重を設定してください。表示切換キーを押して表示画面上の「カロリー」に合わせます。歩幅・体重・ストップウォッチキーを押すと現在の設定体重が表示されます。(電池を入れ換えると、自動的に体重が30kgに設定されます。)歩幅・体重・ストップウォッチキーを1回押すごとに表示されている体重が5kgずつ増えます。1秒以上押し続けると早送りになります。使用者の体重が表示された時点で、歩幅・体重・ストップウォッチキーをはなしてください。これで体重が設定されました。

ストップウォッチ
表示切換キーを押して表示画面上の矢印()を「STW」に合わせます。

歩幅・体重・ストップウォッチキーを押すと再びカウントを開始します。

他のモードの機能(歩数、距離、カロリー)も同時に作動しています。表示切換キーを押すと、各々の測定値が順番に表示できます。

お使いいただく前に

歩幅の設定
最初に使用者の歩幅を設定してください。表示切換キーを押して表示画面上の「距離」に合わせます。歩幅・体重・ストップウォッチキーを押すと現在の設定歩幅が表示されます。(電池を入れ換えると、自動的に歩幅が30cmに設定されます。)歩幅・体重・ストップウォッチキーを1回押すごとに表示されている歩幅が5cmずつ増えます。1秒以上押し続けると早送りになります。使用者の歩幅が表示された時点で、歩幅・体重・ストップウォッチキーをはなしてください。これで歩幅が設定されました。

体重の設定
最初に使用者の体重を設定してください。表示切換キーを押して表示画面上の「カロリー」に合わせます。歩幅・体重・ストップウォッチキーを押すと現在の設定体重が表示されます。(電池を入れ換えると、自動的に体重が30kgに設定されます。)歩幅・体重・ストップウォッチキーを1回押すごとに表示されている体重が5kgずつ増えます。1秒以上押し続けると早送りになります。使用者の体重が表示された時点で、歩幅・体重・ストップウォッチキーをはなしてください。これで体重が設定されました。

ストップウォッチ
表示切換キーを押して表示画面上の矢印()を「STW」に合わせます。

歩幅・体重・ストップウォッチキーを押すと再びカウントを開始します。

他のモードの機能(歩数、距離、カロリー)も同時に作動しています。表示切換キーを押すと、各々の測定値が順番に表示できます。

お使いいただく前に

歩幅の設定
最初に使用者の歩幅を設定してください。表示切換キーを押して表示画面上の「距離」に合わせます。歩幅・体重・ストップウォッチキーを押すと現在の設定歩幅が表示されます。(電池を入れ換えると、自動的に歩幅が30cmに設定されます。)歩幅・体重・ストップウォッチキーを1回押すごとに表示されている歩幅が5cmずつ増えます。1秒以上押し続けると早送りになります。使用者の歩幅が表示された時点で、歩幅・体重・ストップウォッチキーをはなしてください。これで歩幅が設定されました。

体重の設定
最初に使用者の体重を設定してください。表示切換キーを押して表示画面上の「カロリー」に合わせます。歩幅・体重・ストップウォッチキーを押すと現在の設定体重が表示されます。(電池を入れ換えると、自動的に体重が30kgに設定されます。)歩幅・体重・ストップウォッチキーを1回押すごとに表示されている体重が5kgずつ増えます。1秒以上押し続けると早送りになります。使用者の体重が表示された時点で、歩幅・体重・ストップウォッチキーをはなしてください。これで体重が設定されました。

ストップウォッチ
表示切換キーを押して表示画面上の矢印()を「STW」に合わせます。

歩幅・体重・ストップウォッチキーを押すと再びカウントを開始します。

他のモードの機能(歩数、距離、カロリー)も同時に作動しています。表示切換キーを押すと、各々の測定値が順番に表示できます。

修理を依頼されるとき

商品の使い方に関するお問い合わせは、**オムロン健康相談室がお答えします。**

ダイヤルは正確に
0120-0120-30-6606

受付時間/10:00～12:00/13:00～16:00(月～金)
商品の故障および修理の依頼につきましては下記に記載のオムロンフィールドエンジニアリング(株)にお問い合わせください。

オムロンフィールドエンジニアリング株式会社のネットワーク 98.4.1

オムロンヘルスカウンタ HJ-102 取扱説明書

このたびは、オムロンヘルスカウンタをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとも大切に保管してください。

目次

安全上のご注意 P 1～3
 特長 P 4
 各部の名称 P 4
 正しくご使用いただくために... P 5～6
 お使いいただく前に P 7
 ご使用方法 P 8～12
 精度と歩数感度調整 P 14
 電池交換と寿命 P 14
 表示カロリーについて P 15
 ウォーキングでカロリーコントロール... P 16～21
 修理サービスを依頼する前に... P 22
 仕様 P 22
 修理を依頼されるとき P 23
 保証規定 P 13
 品質保証書 P 13

修理サービスを依頼する前に

こんなとき	点検するところ	直しかた
何も表示しない 表示がうすい	電池が消耗していませんか	新しい電池(LR43またはSR43)と取り替えます(P7)
表示の値がちがう	装着方法が間違っていない 設定値が間違っていない 不規則な歩行をしていませんか	取扱上の注意の項をご覧ください(P5) 常に一定のリズムで規則正しく歩くよう心がけます 体重・歩幅の値を、使用者に最も近い値にあわせませ(P9・10)
表示内容がかしい	電池を入れたあとシステムリセットをしまし たか	歩幅・体重・ストップウォッチキーとリセットキーの両方を同時に4秒以上押ししてください システムリセット P7参照

仕様

型 式	オムロンヘルスカウンタ HJ-102
電 源	OC1.5V(LR43またはSR43 1個)
表 示	歩数：0～99999(歩) 距離：0～999.99(km) カロリー：0～9999(kcal) ストップウォッチ0.00.00～9.59.59(時・分・秒)
使用温度範囲	-10 ～ +40
連続使用時間	約1年(LR43使用1日1万歩使用時)
外形寸法	63.5×34.2×21.9mm
質 量	約25g(電池を含む)
付 属 品	電池(LR43 1個) 取扱説明書(品質保証書付)

おことわりなく仕様を変更することがありますので、ご了承ください。
所在地・電話番号を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

A氏の例

男性、45才、体重65kg、管理職
1日に30分歩く
(マイカー通勤：10分、業務その他：20分)

- 生活活動強度
タイプ(1日に約30分の歩行時間)
- 「1日の消費カロリー」
2147kcal(33.03×65kg=2146.95kcal)
- 「歩行による消費カロリー」
204kcal(34kcal×6)
- 「歩行以外の消費カロリー」
1943kcal(2147kcal-204kcal)
- 「てくまる表示カロリー」
102kcal
- 「てくまるを使った1日の消費カロリー」
2045kcal(1943kcal+102kcal)

説明
食事等により1日の摂取カロリーが、2255kcalだとすれば摂取カロリーが210kcalオーバーしていることとなります(2255kcal-2045kcal)。もし、現在の体重を維持したい(太りたくない)のなら、食事制限が運動でオーバー分のカロリーを減らす必要があります。歩行なら、約62分に相当します(210kcal÷34kcal×10分)。

- あなたの1日の消費カロリー(の値)と摂取カロリーをくらべてみましょう。
(次ページの例を参考にしてください。)

- それでは、あなたが歩行以外の日常生活で1日に消費するカロリーを求めてみましょう。

$$1日の消費カロリー = 歩行による消費カロリー + 歩行以外の消費カロリー$$

これまでに、次のことがわかりました。

1日の消費カロリー
歩行による消費カロリー - 歩行以外に消費するカロリー

- 実際の歩行による消費カロリーをてくまるで確認しましょう。

$$てくまる表示カロリー = 歩行による消費カロリー + 歩行以外に消費するカロリー$$

- 最後にてくまる表示カロリーを使ってあなたの1日の消費カロリーを計算しましょう。

$$てくまる表示カロリー + 歩行による消費カロリー = 1日の消費カロリー$$

- あなたの1日の消費カロリー(の値)と摂取カロリーをくらべてみましょう。
(次ページの例を参考にしてください。)

- 含まれてる、歩行による消費カロリーを計算しましょう。

$$1日の消費カロリー - 歩行による消費カロリー = 歩行以外の消費カロリー$$

この部分を「てくまる表示カロリー」で確認します。

- 実際にてくまる表示カロリーを使ってあなたの1日の消費カロリーを計算しましょう。

$$てくまる表示カロリー + 歩行による消費カロリー = 1日の消費カロリー$$

- 最後にてくまる表示カロリーを使ってあなたの1日の消費カロリーを計算しましょう。

$$てくまる表示カロリー + 歩行による消費カロリー = 1日の消費カロリー$$

- あなたの1日の消費カロリー(の値)と摂取カロリーをくらべてみましょう。
(次ページの例を参考にしてください。)

- 次に、生活活動強度別の1日の消費カロリーを求めましょう。

体重を下の式に代入して値を求めます。

年齢	男性		女性	
	歩幅	消費	歩幅	消費
20-29	35.16×W	34.73×W	38.59×W	38.59×W
30-39	33.60×W	32.35×W	36.98×W	36.98×W
40-49	33.03×W	30.83×W	35.36×W	35.36×W
50-59	32.29×W	30.48×W	34.18×W	34.18×W
60-64	31.14×W	29.53×W	33.34×W	33.34×W
65-70	31.24×W	29.40×W	33.42×W	33.42×W
70-74	29.55×W	29.44×W	32.48×W	32.48×W
75-79	29.59×W	29.65×W	32.83×W	32.83×W
80	28.64×W	28.07×W	31.44×W	31.44×W

年齢	男性		女性	
	歩幅	消費	歩幅	消費
20-29	39.84×W	38.59×W	43.45×W	43.45×W
30-39	38.18×W	36.98×W	41.71×W	41.71×W
40-49	36.87×W	35.36×W	40.64×W	40.64×W
50-59	36.33×W	34.18×W	39.06×W	39.06×W
60-64	35.35×W	33.34×W	39.20×W	39.20×W
65-69	34.72×W	33.32×W	38.97×W	38.97×W
70-74	33.14×W	32.48×W	38.03×W	38.03×W
75-78	32.37×W	32.83×W	37.73×W	37.73×W
80	31.50×W	31.44×W	36.66×W	36.66×W

年齢	男性		女性	
	歩幅	消費	歩幅	消費
20-29	47.66×W	46.31×W	50.84×W	50.84×W
30-39	45.05×W	43.45×W	48.97×W	48.97×W
40-49	43.78×W	41.71×W	48.03×W	48.03×W
50-59	43.60×W	40.64×W	47.73×W	47.73×W
60-64	41.24×W	39.06×W	45.72×W	45.72×W
65	40.79×W	39.20×W	45.08×W	45.08×W

年齢	男性		女性	
	歩幅	消費	歩幅	消費
20-29	55.47×W	54.02×W	58.97×W	58.97×W
30-39	52.69×W	50.84×W	56.66×W	56.66×W
40-49	51.46×W	48.97×W	55.06×W	55.06×W
50-59	50.66×W	48.03×W	54.72×W	54.72×W
60-64	47.97×W	45.72×W	52.69×W	52.69×W
65	47.73×W	45.08×W	51.46×W	51.46×W

- まず、日常生活でどれくらい身体を動かしているかをチェックしましょう。

4つのタイプから、あなたに最も近い生活活動強度を選んでください。(歩行時間を目安にしてください。)

(軽い)

生活動作	時間	日常生活の内容
睡眠	8	通勤、買物など1時間程度の歩行と軽い手作業や家事などによる立位のほか
座る	12	は大部分座位で事務、勉強、談話等をしている場合
立つ	3	
歩く	1	

(中等度)

生活動作	時間	日常生活の内容
睡眠	8	通勤、買物のほか仕事などで2時間程度の歩行と事務、読書、談話による座位の歩か機械操作、接客、家事等による立位時間の多い場合。
座る	7~8	
立つ	6~7	
歩く	2	

(やや重い)

生活動作	時間	日常生活の内容
睡眠	8	農耕、漁業、建築などで座位、立位、歩行のほか1日のうち1時間程度は重い筋作業に従事している場合。
座る	6	
立つ	6	
歩く	3	
筋運動	1	

(重い)

生活動作	時間	日常生活の内容
睡眠	8	1日のうち2時間程度は激しいトレーニングとか木材の運搬、農繁期の農耕
座る	4~5	
立つ	5~6	
歩く	4	
筋運動	2	

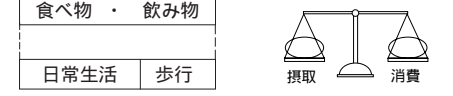
生活活動強度の区分(目安)、等4次改定「日本人の栄養所要量」厚生省保健医療局 健康増進栄養係 監修より

ウォーキングでカロリーコントロール

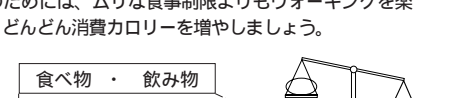
いつも階段を使わずにエスカレーターを使い、食べるものはおいしくてお腹いっぱい食べている...そんな生活を過ごしていませんか? 摂取カロリーが消費カロリーを上回れば、余分なカロリーは体内に脂肪として蓄積されます。成人病の元となる「肥満」にならないために、ウォーキングでカロリーコントロールを始めましょう。

「体重」は摂取カロリーと消費カロリーのバランスで決まります

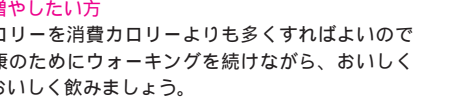
今の体重を維持したい方
摂取カロリーと消費カロリーが等しい状態を保つよう心がけましょう。



ダイエットしたい方
消費カロリーが摂取カロリーよりも多い状態を維持しましょう。そのためには、ムリな食事制限よりもウォーキングを楽しんで、どんどん消費カロリーを増やしましょう。



体重を増やしたい方
摂取カロリーを消費カロリーよりも多くすればよいのです。健康のためにウォーキングを続けながら、おいしく食べておいしく飲みましょう。



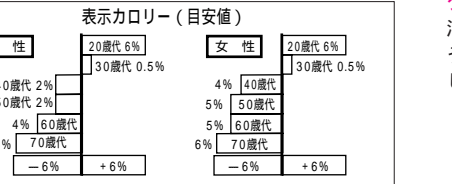
次のページからの手順で、てくまるを使った「ウエイトコントロール」を実践してみましょう。

表示カロリーについて

表示カロリーは、歩行やジョギングをしたことによる消費エネルギーを、体重と歩行・ジョギングの歩数から概略計算した目安値です。従って歩行やジョギングの歩数が増えるに従って、徐々に1kcalづつ増えていきます。歩行とジョギングの区別は、その速さで決めており、次の値を基準にして計算しています。

歩行.....100歩/分(0.6秒/1歩)...約3.2kcal/分(60kgの場合)
ジョギング...150歩/分(0.4秒/1歩)...約6.8kcal/分(60kgの場合)

一般的に、カロリー(運動消費エネルギー)は個人の年齢や性別によって、各々差がみられるのが普通です。本製品の表示カロリーは、20歳代～70歳代の年齢差と男女差を平均していますので、若干誤差(±6%)があります。図1に概要を示します。



年齢層による目安カロリー値を知りたい場合は、表示カロリーに表1に示す係数を掛け算して補正してください。

表1 表示カロリー補正係数

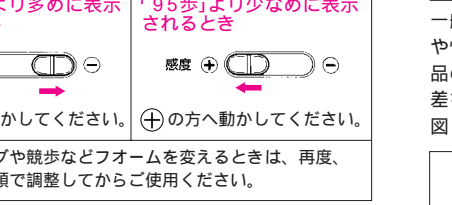
	男	女
20歳代	1.06	1.06
30歳代	0.98	0.98
40歳代	0.96	0.96
50歳代	0.94	0.94
60歳代	0.94	0.94
70歳代	0.94	0.94

補正例
表示カロリーが「300」の時に20歳代の方は
300×1.06=318kcal 18kcalの差があります。

精度と歩数感度調整

本製品は、平地において姿勢を正した標準的な歩行で精度±5%(100歩に対して±5歩)以内になるように調整してあります(中央値) もし表示が実際の歩数より多め(少なめ)の場合は、次のように調整してください。

自分で数えながら「100歩」歩く。
前ケースを開いて、表示されている歩数を見る。
歩数感度調整ノブを動かして調整する。少しずつ動かして、自分の歩行に合う位置を見つけてください。



電池交換と寿命

電池がなくなったら、古い電池を取り出して最初と同じように新しい電池を入れてください。(P7、お使いいただく前にの項参照)

電池はLR43またはSR43を使用してください。電池はデジタル表示がうすくなりだしたときに交換してください。新品の電池の場合、電池を入れたままの状態で約1年間使用できます。付属の電池はモニター用ですので、1年以内に電池寿命が切れることがあります。

保証規定

- 取扱説明書にしたがった正常な使用状態で故障した場合には、無償修理いたします。
- 無償修理期間内に故障して修理を受ける場合は、商品に本書を添付してお買い上げの販売店、オムロン(株)の支店またはオムロンフィールドエンジニアリング(株)のネットワークに依頼または送付してください。なお、送付の場合はオムロン(株)の支店またはオムロンフィールドエンジニアリング(株)までの送料の負担をお願いします。
- 無償修理期間内でも次の場合には有償修理になります。
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地災、公害や電線の異常電圧による故障および損傷。
(ニ) 本書の表示がない場合。
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(ヘ) 消耗部品。
(ト) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
4.本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
5.本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品質保証書

このたびは、オムロン健康機器を、お買い求めいただきありがとうございます。本機は厳重な検査を行ない高品質を確保しております。オムロン健康機器をご利用の際、不具合が発生したときは、上記の保証規定によりお買い上げ後一年間は、無償修理いたします。本機の保証は、日本国内での使用の場合に限りです。This warranty is valid only in Japan.

品名 オムロンヘルスカウンタ
型式 HJ-102
ご芳名 _____
ご住所 _____
TEL () _____
お買い上げ店名 _____
住所 _____
TEL () _____
お買い上げ年月日 年 月 日
発売元 オムロン株式会社 健康統轄事業部
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10 TEL03(3436)7092